

かるたで大岡のまちを

笑顔でいっぱいになろう！！

3年生になり初めての大岡の時間。これまでの学習経験を生かして、まちやまちの人とのかかわりを大切にできる学習にしたいと子どもたちは考えました。そこで、自分たちの活動で、「大岡のまちを笑顔でいっぱいになろう！」ということになりました。

そして、「まちを笑顔でいっぱいにする」ということは、「まちの人と一緒に遊ぶこと」と定義し、どの遊びにするか話し合いました。ルールが簡単で一度に多くの人たちが遊べるもの・・・ちょうど子どもたちのブームだった「かるた」に注目したのです。「いっそうのこと、自分たちでまちのかるたをつくろうよ！！」それで学習が始まりました。



まずは「どのようにしてかるたを作ればよいのだろうか」という課題からスタート。いろいろなかるたからかるたの特徴を分析して、大岡小のことをテーマにした「オリジナルかるた」を作ってみました。分担した題材とひらがな1文字から読み札と絵札を自由に作り、みんなで遊びました。何度も遊んでいくと絵札が汚れてしまうというハプニングが！！ほかにも問題点が見つかりました。また、楽しく遊んでもらうには「大岡小の特色」が盛りだくさんでないといけないことに気づき、作り直しました。

それで大岡小の友だちに遊んでももらいました。初めて他の人に遊んでもらうことに不安をもちながらも、「楽しかったよ」と言ってくれたことに自信をもった子どもたち。

いよいよ次は「まちのかるた」作りです。